

「チカラがつく」

Point  
1

## 日本から世界、古代から現代、幅広く学べる。

### 4つの学びを1年次に幅広く履修

まず始めに「日本史」「東洋史」「西洋史」「考古学」の4つの分野について幅広く授業を履修することができ、それぞれの基礎的な知識を修得することができます。

#### 1 日本史

史料の読解法から収集、研究を行う技術まで、ステップアップしながら学修。複数のテーマを扱い、歴史を幅広い視点から捉えます。

学びのキーワード | #近現代の政治史 #有職故実 #中世の生活史  
#近世村落史 #近世教育社会史

#### 2 東洋史

特に原典史料に触れることを重視。出土文献・出版文化史・東アジア文化交流史を中心に、多様な地域の歴史も研究可能です。

学びのキーワード | #中国 #朝鮮半島 #イスラーム #中央アジア  
#原典史料 #出版文化史

#### 3 西洋史

ヨーロッパ・アメリカの歴史について多角的に迫り、新しい観点を探究。女性・出産・身体等の視点からも、歴史を考えます。

学びのキーワード | #フランス近世史 #社会史 #家族史 #ジェンダー史

#### 4 考古学

先史時代に限定せず、文字の存在する歴史時代も含め、広範な時代を研究。遺跡・遺物の実地調査に重点をおきます。

学びのキーワード | #歴史考古学 #宗教考古学 #実地調査 #考古学実習 #石造物

2年進級時に4つの中から専攻分野を決め、それぞれの演習(ゼミ)に所属することになります。入学時に何を専門的に学びたいのか迷っていても、1年間じっくりと学び、考え、決めることができます。

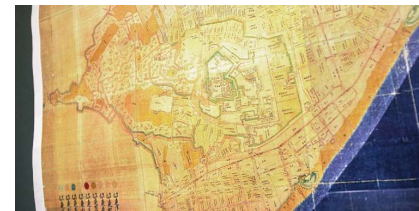
「チカラがつく」

Point  
2

## 情報を読み解く力と、伝える力が身につく。

### ✓ 史料を読み解き論理的に思考する力

史学の研究は、史料を収集し、それらから史実を読み解いていく学問です。主観的な推測の積み重ねではなく、根拠に基づいた説得力のある議論を展開するための、論理的な思考が求められます。そのための力を、2年次には「基礎演習」、3・4年次には「演習」の科目を履修して身につけていきます。



### ✓ 自分の考えを相手に的確に伝える力

「演習」の科目では、ひとつのテーマについて必要な史料収集を行い、研究書等の文献を読みながら調査を進め、その内容を受講生の前で発表する機会が与えられます。自分の考えをわかりやすく伝え、理解してもらうために、配布する資料・発表方法や手段を工夫する力が鍛えられ、社会人としてはもちろん、人生のあらゆる場面で必要となる「プレゼンテーション能力」を身につけることができます。



### カリキュラム

卒業基準単位数: 124 教養の科目: 22 専門科目: 102

※2023年4月1日入学者の場合。

	1年次	2年次	3年次	4年次
	歴史学の考え方、基礎を修得する 歴史を研究する際の視点や考え方をしめ、辞典・辞書類の利用法、史料の収集法等を修得します。	4つの領域から専門を決定する 選択した専攻分野の「基礎演習」を履修し、専門的な研究方法と史料の読解法を学修します。	演習をととして論文作成力を修得 卒業論文を念頭におきながら、史料や専門的な論文を読み、演習で論文作成に必要なスキルを磨きます。	学修の総括である卒業論文を作成 研究の最終テーマを決め、卒業論文を作成。後半は個別指導のもと、論文の完成をめざします。
必修科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>学修の基礎1</li> <li>基礎英語1・2</li> <li>基礎ゼミナール</li> <li>コンピュータ情報処理の基礎</li> </ul>			卒業論文
選択必修科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本史料講読1・2・3・4</li> <li>東洋史料講読1・2</li> <li>西洋史料講読1・2</li> <li>考古史料講読1・2</li> <li>日本史研究法</li> <li>東洋史研究法</li> <li>西洋史研究法</li> <li>考古学研究法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本史基礎演習1・2</li> <li>東洋史基礎演習1・2</li> <li>西洋史基礎演習1・2</li> <li>考古学基礎演習1・2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本史演習1・2</li> <li>東洋史演習3・4</li> <li>西洋史演習3・4</li> <li>考古学演習1・2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本史演習3・4</li> <li>東洋史演習3・4</li> <li>西洋史演習3・4</li> <li>考古学演習3・4</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本史概説1・2・3・4</li> <li>東洋史概説1・2・3・4</li> <li>西洋史概説1・2・3・4</li> <li>考古学概説1・2・3・4</li> </ul>			
選択科目		<ul style="list-style-type: none"> <li>日本史特講1～20</li> <li>東洋史特講1～16</li> <li>西洋史特講1～16</li> <li>考古学特講1～16</li> <li>近代日本社会・経済史</li> <li>ヨーロッパ社会・経済史</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本思想・宗教史</li> <li>アジア思想・宗教史</li> <li>古文書学1・2</li> <li>歴史地理学1・2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本史料研究1・2</li> <li>東洋史料研究1・2</li> <li>西洋史料研究1・2</li> <li>考古資料研究1・2</li> </ul>
		考古学実習1・2	考古学実習3・4・5	考古学実習6
			<ul style="list-style-type: none"> <li>古文書学実習1・2・3・4</li> <li>民俗学1・2</li> <li>美術史1・2</li> </ul>	

※学部間相互履修制度がある学部もあります。詳細は各学部へお問い合わせください。 ※カリキュラムは変更される場合があります。

「チカラがつく」

Point  
3

## 現地に足を運ぶことで、歴史により近づける。

### ✓ 博物館や遺跡等で 体験的・実証的に学ぶ

史学科では「足で学問する」をモットーに、教室の外に出て「歴史」や「史料」を自分の目で直接見て感じることを大切にしています。

東京近郊の博物館・美術館・図書館・文書館めぐりを実施し、夏合宿等では地方の博物館を訪れることもあります。



### ✓ 大学内の施設をいつでも活用できる

立正大学の品川キャンパスには「古書資料館」という施設があり、江戸時代の和古書が約45,000冊所蔵されています。また熊谷キャンパスの「大学博物館」には、多くの考古資料が保管・展示されています。

さらに品川キャンパスの新校舎にはロータスギャラリー特別展示室がオープンし、史学の学びに不可欠な「史料」との距離がますます身近になりました。



## VOICE

学生インタビュー

### 自分の「好き」を突き詰められるから、 好奇心が止まらない！

幼い頃から大河ドラマを観るのが好きで、番組クレジットの時代考証・衣装考証という言葉に目が留まったのが、史学に興味を持ったきっかけでした。そういった仕事があることも、歴史を学べる環境が大学にあることも驚きでしたが、大学は就職準備のための場所と思っていた私にとって「自分の好きを突き詰めることが学びになる」という発見は、立正大学に進学を決める大きな後押しとなりました。

日本史だけでなく、東洋史や西洋史等も幅広く学んでいると、実は歴史的なつながりがあった。裏で日本の文化に大きな影響を与えていたという発見の連続で、私の好奇心は刺激されっぱなしでした。将来はプライダル関連のプランナーになる予定なのですが、立正大学で身についた「歴史を紐解く力」は、「お客様の歴史を紐解く力」にもつながります。どんな人生を歩んで来て、どんな結婚式にしたいと思うのか、その方の素敵な歴史の1ページを綴る仕事ができたらと思います。

文学部 史学科 神奈川県立水取高等学校出身

## 史学科独自の就職サポート

### 社会で活躍する史学科卒業生

#### 中学・高校の教員

教員免許状取得者数および教員に採用される人数は、文学部の中で史学科が最多です。

#### 学芸員

地方公務員として就職し、文化財の保護・活用、埋蔵文化財の発掘調査等を担当する文化財課、および博物館勤務となることも多くあります。

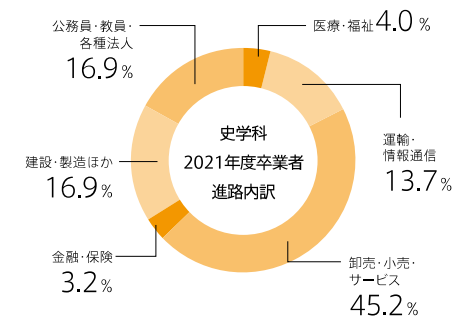
#### 公益財団法人等の団体職員

博物館業務や、埋蔵文化財(遺跡)の発掘調査に携わっています。

#### 文化財のコンサルタント会社

遺跡の発掘作業、史跡の整備復元、街並み保存整備等の業務を自治体から請け負っています。

そのほかにも、旅行会社で史跡巡りのツアーを企画、アパレル企業で西洋の服飾史の知識を活用、出版社で歴史系図書の編集や出版に従事、ミュージアムグッズの企画・制作・販売、さらに歌舞伎舞踊の歴史を研究し、日本舞踊の定期公演に出演している卒業生もいます。



### 卒業論文テーマ

- 【日本史】
  - 貴族の日記から見る御霊信仰
  - 金沢北条氏の歴史
  - 江戸時代における女性の読書
  - 近世の旅日記 ほか
- 【東洋史】
  - 中国の「蠶」の変遷と地域的展開
  - 中世イスラム建築における意匠
  - 初期モンゴル帝国の外交
  - 毛沢東と大躍進 ほか
- 【西洋史】
  - 中世イタリアの都市社会
  - ジャン・ボダンの魔女論
  - 南北戦争の時代における人権問題
  - 近代ドイツの家族 ほか
- 【考古学】
  - 古墳出土の鈴鏡
  - 関東地方における横穴式石室の展開
  - 北アメリカの新石器時代の農耕
  - ギリシャ陶器の様相 ほか



### 免許・資格

- 【教員免許】
  - 中学校教諭一種免許状(社会)
  - 高等学校教諭一種免許状(地理歴史)
  - 高等学校教諭一種免許状(公民)
  - 学校図書館司書教諭
- 【専門職】
  - 博物館学芸員(任用資格)
  - 図書館司書
- 【行政職】
  - 社会教育主事(任用資格)
  - 社会福祉主事(任用資格)

詳しくはP.16～P.18へ



### 進路・将来像

- 中学校社会科教諭
- 高等学校地理歴史科教諭
- 高等学校公民科教諭
- 博物館学芸員
- 学校図書館司書教諭
- 図書館司書
- 研究機関研究員
- 官公庁
- 各種公務員
- 社会教育主事
- 社会福祉主事
- 民間企業全般 等

詳しくはP.34へ